

オーバーホールのあゆみ

当社は、(株)日本製鋼所が昭和24年(1949年)以来、営々と努力し培ってきた防衛装備品整備の基盤と技術を基礎に、新たな技術の研鑽に努めお客様のご要望に応えてまいりました。

現在は室蘭と広島の2拠点にて事業を展開し、今後も総合的な防衛装備品整備会社としてより一層お客様に満足して頂けるよう努力してまいります。

会社名

(株) 日本製鋼所

西暦

年号

1949

1950

1951～1955

1956～1960

1961～1965

1966～1970

1971～1975

1976～1980

1981～1984

1985

1986

1987

1988

1989

1990

1991

1992

1993

1994

1995

1996

1997

1998

1999

2000

2001

2002

2003

2004

2005

2006

2007

2008

2009

2010

2011

2012

2013

2014

2015

2016

2017

2018

2019

2020

2021

2022

2023

2024

2025

兵器のオーバーホール事業のスタート

陸上自衛隊

●S24年度 開始 ●S33年度 終了

在日米軍兵器修理作業 (赤羽)

●S28年度 開始 ●S53年度 終了

M29C ウィゼル雪上車・M5 トラクター

●S29年度 開始 ●S39年度 終了

M24 戦車

●S30年度 開始 ●S57年度 終了

火砲 (75PH、105H、155H、203H)

●S30年度 開始 ●S42年度 終了

90mm 高射砲

●S36年度 開始 ●S42年度 終了

40mm 高射機関砲、M4A3 戦車

●S37年度 開始 ●S46年度 終了

M413 戦車及び M8 トラクター、M41 戦車

●S44年度 開始

国産装甲車・火砲 (60 式装甲車、60 式自走 106mm 無反動砲等)

●S46年度 開始 ●S61年度 終了

61式戦車

●S55年度 開始 ●H4年度 終了

35mm 二連装高射機関砲 (L90)

日鋼特機株式会社創立

●S61年度 開始

74式戦車

●S62年度 開始 ●H6年度 終了

74式自走105mmリゅう弾砲

●S63年度 開始

75式自走155mmリゅう弾砲

●H7年度 開始 ●H18年度 終了

203mm 自走リゅう弾砲

●H8年度 開始

155mmリゅう弾砲FH70

●H15年度 開始

87式自走高射機関砲

●H15年度 開始

90式戦車

●H15年度 開始

89式装甲戦闘車 (砲部)

●H15年度 開始

87式偵察警戒車 (砲部)

●H25年度 開始

99式自走155mmリゅう弾砲

●R5年度 開始

10式戦車

海上保安庁

●S38年度 開始

海上保安庁巡視船搭載40ミリ機関砲

●S60年度 開始

海上保安庁巡視船搭載30ミリ機関砲、35ミリ機関砲

●H4年度 開始 ●H24年度 終了

20mm対空機関砲 (VADS- II) 点検整備

●H24年度 終了

20mm対空機関砲

●巡視船搭載30mm機関砲

主整備事業の取り組み

1949年：～戦後における兵器のオーバーホール事業開始～
在日米軍兵器修理作業開始 (日本製鋼所・赤羽作業所)
1953年：北海道地区でのオーバーホール開始 (日本製鋼所・室蘭)
1954年：戦車整備開始 (赤羽作業所から室蘭に技術者転属)
1958年：米軍兵器修理作業終了、武器補給処と役務契約を結び、同十条支処において修理作業を開始 (～'61年)
1983年：74式戦車試行整備 (日本製鋼所・室蘭)

1985年：～日鋼特機 (株) の創立～
1985年：海上保安庁巡視船搭載35ミリ機関砲整備開始
1986年：74式戦車の整備開始
1987年：74式自走105mmリゅう弾砲整備開始
1988年：75式自走155mmリゅう弾砲整備開始
1992年：20mm対空機関砲 (VADS- II) 点検整備開始

1995年：203自走リゅう弾砲整備開始
1996年：155mmリゅう弾砲FH70整備開始
2003年：87式自走高射機関砲、120mm戦車砲 (90式戦車 (砲部))
89式装甲戦闘車 (砲部)、87式偵察警戒車 (砲部) 整備開始
2013年：99式自走155mmリゅう弾砲整備開始
2017年：87式自走高射機関砲特別整備開始

2021年：海上保安庁巡視船搭載30ミリ機関砲整備開始
2023年：10式戦車 (砲部) 整備開始